

欧文報告「パブリ」の発展にご協力を!!

日本天文学会理事長 田中靖郎

「パブリ」の愛称で呼ばれている欧文報告の発行は日本天文学会の重要な事業の一つです。そもそも本学会が設立された時の目的の一つが自分達の研究成果を広く内外に問う場を持ちたいということにあったのです。

天文月報と欧文報告はこの目的のために会員の皆様の会費と学会自らの努力で発行されていることをご承知の通りです。従って、会員の皆様が自分達の学会誌を大切に育てようとする気持ちに全面的に支えられているのです。

ところが、自分が論文を投稿しようとする段になるともう少し複雑な考慮が働くようであり、実際には、外国の学会誌に投稿する方が少なからずおられるのが現実のようです。

学会誌のネームヴァリューを決める要素は幾つかあると思いますが、(1)質の高い、重要な論文が多い、(2)世界的に購読者数が多い(広く読まれる)、(3)出版されるのが速い、等を挙げることができるでしょう。精魂込めて書き上げた論文を出来るだけネームヴァリューの高い学会誌に発表したいと考えるのは或る意味で当然の気持ちと言えなくはありません。自分達の学会誌「パブリ」(PASJ)も是非このような条件を満たしたジャーナルにしたいというのが私たちの切実な願いです。

しかし「パブリ」については、(1)外国の購読者数が多くない、(2)発行頻度が少なく、出版までに時間がかかる、(3)投稿料が決して安くない、等の批判を聞きます。これらをなんとか改善して行くよう学会も編集委員も奮闘しています。しかし、根本的な改善には会員の皆様のご協力が是非とも必要なのです。

学会誌の盛衰は典型的な「不安定性」の問題だとよくいわれます。即ち、

- (1) 興味を引く重要な論文が増加すると、
- (2) 「このジャーナルを購読したい」「読まないと

損をする」という研究者や大学・研究所が増える。そうすると、

- (3) 知名度が高まると同時に、財政が好転し投稿料も安くできる。
- (4) 更に投稿が増え、益々購読者も増えて広く読まれる。逆も又真なりです。

そこで、会員の皆様に是非お願いしたいのです。プラス向きの不安定性を生むために、皆様がこの論文は重要度が高い、或は外国誌に投稿したいとお考えの論文を「パブリ」に投稿して頂きたいのです。この不安定性を効果的にトリガーするには重要論文の数が目だって増えることが必要で、多くの人の協力が不可欠です。又、不安定性のタイムスケールは決して短くなく、最低2年程度はかかるでしょう。しかし皆様が暫く辛抱して協力して下されば必ず効果は生まれます。

日本天文学会は全国の天文学研究者・愛好者が自ら設立したものです。その学会誌は日本の天文学のレベルとポテンシャルを国際的に知らせるものであることは今更いうまでもありません。わが国の天文学は電波天文、光学天文、スペースからの天文、理論天文、その他、天文学のあらゆる領域で高いレベルの顕著な活動を行っており、その成果は間違いなく国際的に強い関心を持たれています。優れた論文を質量共に生み出していることは紛れもない事実です。従って、これらの論文が「パブリ」に集中することになれば、外国の研究者の注意を引かぬ筈はありません。

外国の著名な学会誌も、そのネームヴァリューは学会に属する会員達自らが粘り強く育ててきた結果です。私達も自分が属する学会の学会誌にそっぽを向かないで、是非愛情を注いで「パブリ」を育てようではありませんか。

今回「パブリ」の体裁を一新し、表紙も魅力的になりました。外国への宣伝活動等の企業努力も一層強化します。是非これを機会に皆様全員が「パブリ」のネームヴァリューを高める運動にご協力下さるよう、心からお願いする次第です。